

提案書

平成 23 年 4 月 5 日

情報通信審議会
電気通信事業政策部会 殿

郵便番号

(ふりがな)

住 所

(ふりがな)

氏 名 ふゆーじょん こみゆにけーしょんず かぶしきがいしゃ
フュージョン・コミュニケーションズ株式会社

電話番号

FAX番号

電子メールアドレス

「ブロードバンド普及促進のための環境整備の在り方に関する提案募集」に対し、別紙のとおり提案します。

(別紙)

この度は「ブロードバンド普及促進のための環境整備の在り方」につき、意見募集の機会を頂き、厚く御礼申し上げます。

下記のとおり弊社より提案させていただきますので、お取り計らいの程、何卒宜しく願い申し上げます。

【総論】

ブロードバンド普及促進のための環境整備に向け、重要と認識される事業者間競争の活性化につき、積極的な審議が行われることを要望いたします。

将来の移行先である IP 網をベースとした FTTH 市場、0ABJ-IP 電話市場何れも NTT 東西殿のシェアが数年に渡って 70%を超えており、同社の寡占状態が今後も継続すれば、競争事業者が次々と事業撤退せざるを得ない事態になりかねません。将来の電気通信市場の発展・向上を鑑み、NGN のアンバンドル化を始め、IP 網における事業者間競争の具体的促進策が講じられることを強く要望いたします。

【各論】

1. ブロードバンド普及促進のための競争政策の在り方について

(2) NGN (次世代ネットワーク) のオープン化によるサービス競争の促進

NGN ではアクセス回線のみならず電話サービスもバンドルされており、当該利用者は他事業者の電話サービスを選択できない状況にあります。PSTN において実現されているマイライン等を始め接続事業者も加わった各競争サービスにつき、次の三点を考慮に入れ、NGN 上における実現性を講ずるべきだと考えます。

- ・利用者視点における利便性の維持
- ・相互接続上の技術的課題の整理
- ・接続料金並びに利用者料金に対する政策

また一方、接続事業者の 0ABJ-IP 電話実現方法の一つとして NGN 帯域制御機能のアンバンドル化を NTT 東西殿へ提案しておりますが、当事者間での協議だけでは仕様が一向に進展しない状況にあります。

新設委員会における有識者の本格的審議、本年内に計画された成案におきまして、NGN 上での接続事業者による競争サービス実現性並びに競争環境の整備が行われることを期待いたします。

2. 電話網(PSTN)から IP 網への円滑な移行の在り方について

(2) PSTN から IP 網への移行に伴う事業者対応の在り方

NTT 東西殿より PSTN から IP 網への移行計画が昨年 11 月公表されましたが、接続事業者との競争環境に関する移行措置については何ら明示されておりません。前段のとおり、PSTN にて実現された各競争サービスにおける IP 網への実現措置を講ずるべきだと考えます。

<現時点想定される具体的な課題>

- ・PSTN 市場におけるマイラインについては、IP 網サービスの発展・普及が進むにつれ縮減の一途をたどっております。移行先の IP 網における選択中継サービスの実現措置を講ずるべきだと考えます。
- ・NTT 東西殿との IP 網間接続については、接続事業者の直取 0ABJ 番号との接続に限定した仕様となっております。接続事業者の直取 050 番号との接続、また中継呼との接続につきましても直取

OABJ 番号と同様、IP 網間接続の実現を要望いたします。

また現在、NTT 東西殿の中継交換機を經由して実現された接続事業者間の接続が多数存在します。IP 網への移行に伴う当該接続に対する措置についても、検討する必要があると考えます。

- NTT 東西殿の移行計画では、中継網を NGN へ集約移行するまでに留まっていますが、アクセス網におけるメタル回線から光アクセス回線（BWA 等のワイヤレス回線含む）への移行計画も公表すべきだと考えます。メタル回線の継続利用はユニバーサルサービス制度を通して国民負担になりますので、永く継続させるべきではないと考えます。

以上